

事務事業名		国保運営協議会運営事業			<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業			
政策体系	政策名	0:4: 安心が確保されたまちづくりの推進			事業期間		予算科目			
	施策名	1:8: 社会保障の充実								
	基本事業名	0:1: 国民健康保険の充実			<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入		10	01	03	01
所属	根拠法令	国民健康保険法第11条								
	部課名	生活福祉部国保年金課								
	係名	国保係	電話	27-3111						
			内線	149						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・国保法に定められ、国保事業の運営に関する重要事項について市長からの諮問により審議する委員会 ・委員の構成は、公益代表委員5人、保険医・保険薬剤師代表委員5人、被保険者代表委員5人、被用者保険等保険者代表委員2人で、任期は2年。 ・主な業務は、諮問事項の検討、国保運営協議会の開催・記録、同委員の会議出席管理等							全体計画(期間限定複数年度のみ)			
							総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金	
								財源内訳	都道府県支出金	
									地方債	
									その他	
									一般財源	
								事業費計 (A)	0	
							人件費	正規職員従事人数		
								延べ業務時間		
								人件費計 (B)	0	
								トータルコスト(A) + (B)	0	

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)		
手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 国保運営協議会を4回開催し、諮問事項の協議を行った。また協議結果を市長に答申した。また、大船渡地区国保協議会総会、県国保フォーラム、国保東北大会へ参加した。		ア	国保運営協議会開催回数	回
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 諮問事項を協議する運営協議会を開催する 協議結果を市長に答申する		イ	会議等出席回数	回
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 大船渡市国保運営協議会		ウ		
		対象指標 (対象の大きさを表す指標)		
		カ	委員数	人
		キ		
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 国保事業の運営に関する重要事項について、専門的な知識を生かし、意見交換及び審議等を行い、市の国保事業に反映させる意見等の答申を行う環境を整える。		ク		
		成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)		
		サ	答申件数	件
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 第三者機関として国保運営にかかわることにより、国保事業の透明性を高め、もって健全な国保事業運営に資する。		シ		
		ス		

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	600	609	677	764	811	742
		事業費計(A)	千円	600	609	677	764	811	742
	人件費	正規職員従事人数	人	6	6	6	6	6	6
		延べ業務時間	時間	60	60	60	60	60	307
		人件費計(B)	千円	240	240	240	240	240	1,228
		トータルコスト(A)+(B)	千円	840	849	917	1,004	1,051	1,970
活動指標	ア	回	2	3	3	3	3	4	
	イ	回						3	
	ウ								
対象指標	カ	人	17	17	17	17	17	17	
	キ								
	ク								
成果指標	サ	件	7	6	8	8	8	9	
	シ								
	ス								

事務事業ID	0100	事務事業名	国保運営協議会運営事業
--------	------	-------	-------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 国保制度は、昭和13年の国民健康保険法の制定により始まる社会保障制度であり、昭和23年に任意の国保組合から市町村公営の体制となったもの。国保運営協議会は、昭和27年の市制施行同年に設けられている。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 昭和59年に、退職者医療制度が創設されたことに伴い、拠出者側の意向を反省させるため、被用者保険等保険者を代表する委員を加えて組織することができるとされ、その後、退職被保険者及びその被扶養者相当数以上の市町村は委員を設置すべきとされたことから、昭和62年から、それまでの委員に、被用者保険等保険者代表委員2名を追加し、協議会を構成している。	
なお、22年度において評価の実効性を高めるため評価指標の見直しを行った。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 国保関係者の立場で、地域に応じた事業運営についての意見を述べることは良いこととされている。	

2. 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] ↘ 国保関係者等の意見の反映により、より地域の実情に応じた事業の運営が図られ、社会保障の充実に繋がる。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] ↘ 法定事項であるため (国保事業運営は、主なことは市議会に諮り、実際の運用は市が行うものであるが、この協議会の設置は、地域の特性に応じた運営が行われるよう、関係者による意見の反映を目的とした法に基づくものであるため。)	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↘ 法定事項として設置されている委員会で、国保事業を審議するものとしては唯一であるが、多様な分野から選出された委員で構成されていることから、他に審議の場を設ける必要は無いものとする。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] ↘ 規則において、条例の制定・改廃、国保関係予算、国保税の税率等国保事業に関する重要事項について審議事項としており、十分意見の反映の場となっている。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] ↘ 法定事項につき廃止等不可	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↘ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由] ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由] ↘ 法定事項につき統廃合不可 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない [理由] ↘	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘ <input type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘ 会議の開催にかかる費用については、報酬・出張旅費であり削減は難しいが、各種会議への出席等については、その必要性に着目し、取捨選択することで削減の可能性はある。但し、任期が短く複雑な国保制度の理解にはある程度の研修も必要であることから、拙速な削減はすべきではない。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘ 担当は職員1人(兼務)であり、また会議には関係職員の出席が必須なので、削減の余地はない。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ <input type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] ↘ 委員は、公益代表、医療機関等代表、一般被保険者代表、被用者保険代表から選出されており、特定の受益者への偏りは無い。また国保運営全般にわたる審議を行っており、公平性が保たれている。但し、平成13年の三陸町との合併の際、一体化が図られるまでの経過措置として3委員増としていることから、委員数については、減員の余地がある。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点) 地域の特性に応じた国保事業運営が行われるよう、関係者による意見の反映を目的として実施しており、協議も活発である。 平成13年の三陸町との合併後増員となった委員数の適正化について検討の必要があるほか、研修会等への出席については、その内容により効果を検証し、惰性的な参加とならないよう随時見直しを行う。</p>																			
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
公平性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input type="checkbox"/> 目的再設定</td> <td><input type="checkbox"/> 事業統合・連携</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性改善)</td> </tr> </table> <p>(上記方向性に対する具体的な内容) 今後も継続して目的に沿った会議の開催と答申を行っていく。 平成13年の三陸町との合併後増員となった委員数の適正化について検討していく。</p>	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> 現状維持	事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性改善)					<p>(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> 現状維持																												
事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性改善)																																
		コスト																														
		削減	維持	増加																												
成果	向上																															
	維持			×																												
	低下		×	×																												
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 合併後10年が経過し、市としての一体性は高まっているが、他の委員会等の状況や、市としての合併後の体制の検証を踏まえる必要がある。</p>																																

(職名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	国保年金課長
-------	--------

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																																
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由 国保運営協議会の委員は合併時の特例で3人増となっているが、県内他保険者の状況等を助案しながら見直しが必要である。</p>																			
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input type="checkbox"/> 目的再設定</td> <td><input type="checkbox"/> 事業統合・連携</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</td> </tr> </table> <p>(上記方向性に対する具体的な内容) 法定事業であり今後も継続するが、委員数の適正化を図る必要がある。</p>	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> 現状維持	事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)					<p>(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> 現状維持																												
事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)																																
		コスト																														
		削減	維持	増加																												
成果	向上																															
	維持			×																												
	低下		×	×																												

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
